



グリップヒーターHG / SP 取り付けについて JGB04530A1

適合車種：YZF-R25 (RG10J、RG43J)、MT-25、XSR125、MT-125

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



警告

※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に（重要）

セット内容に不備が無いかを確認してください。
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、
ナットの取り外し方については車両のサービス
マニュアルを参考にしてください。

＜取り付けについて＞

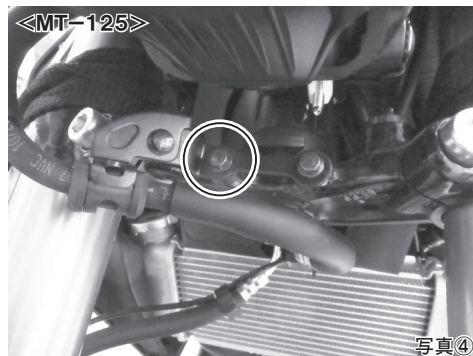
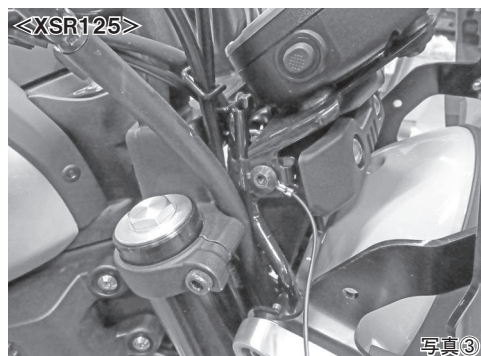
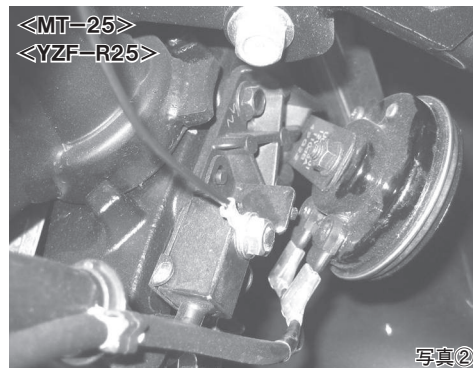
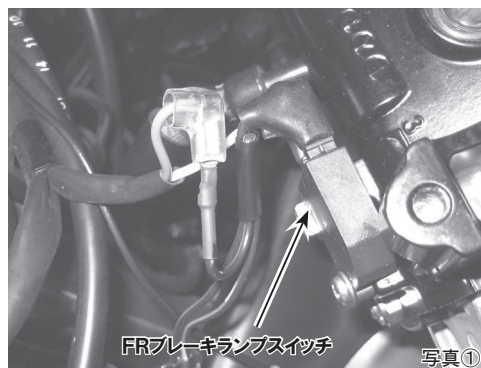
①配線の接続について（図①）

付属している電源線の+側はFRブレーキランプスイッチ部（茶線）から（写真①）、アース線は
YZF-R25、MT-25はブレーキホースのクランプ部（写真②）、またはホーンのクランプ部から
取り、XSR125はメーターブラケット部のボルト（写真③）、MT-125はブレーキホースの
クランプ部（写真④）から取って間に挟むように共締めします。

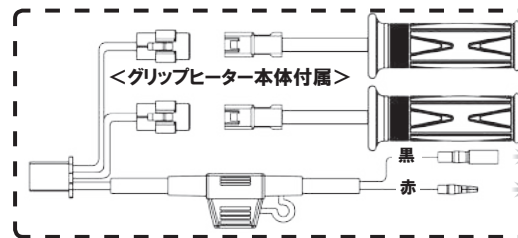
※アース線取り付け部は塗装をヤスリやサンドペーパーで剥がしてから取り付けします。

●構成部品●

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・アース線・・・1本
- ・メーターステー（R25用HGのみ）・・・1個
- ・書類・・・1部



このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



図①

ブレーキホースクランプ部など
に共締め

ブレーキランプスイッチ線
（茶色）に接続

ブレーキランプ
スイッチ本体に接続

②純正グリップの取り外し

左側の純正グリップおよび純正スロットルパイプを取り外します。純正グリップが付いていたところ
に付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

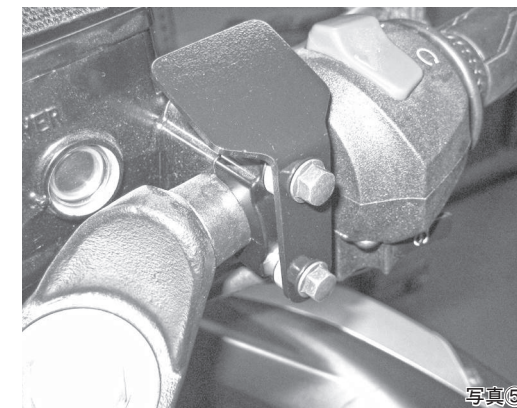
＜YZF-R25への取り付けについて＞

＜HGの場合＞

本キットに付属しているステーを間に
カラーを挟むようにしてマスターシリンダー
ホルダーに固定します。（写真⑤）
→このとき、ボタン操作の邪魔にならない
位置にクランプしてください。
その後、両面テープで制御スイッチを
固定します。

＜SPの場合＞

グリップヒーターをハンドルに取り付ける
前に、リングタイプスイッチをハンドル
パイプの左側グリップ部に差し込んで、
下側からグリップヒーター本体に付属の
イモネジで固定します。
→このとき、車両の操作の邪魔にならない
位置に固定してください。



＜MT-25/ XSR125/ MT-125への取り付けについて＞

＜HGの場合＞

グリップヒーター本体に付属のハンドル
ブラケットセットをハンドルパイプに
固定します。（写真⑥）
→このとき、ボタン操作の邪魔にならない
位置にクランプしてください。
その後、両面テープまたはビスで制御
スイッチを固定します。

＜SPの場合＞

グリップヒーターをハンドルに取り付ける
前に、リングタイプスイッチをハンドル
パイプの左側グリップ部に差し込んで
下側からグリップヒーター本体に付属の
イモネジで固定します。
→このとき、車両の操作の邪魔にならない
位置に固定してください。



④左右グリップの取り付け（参考例）

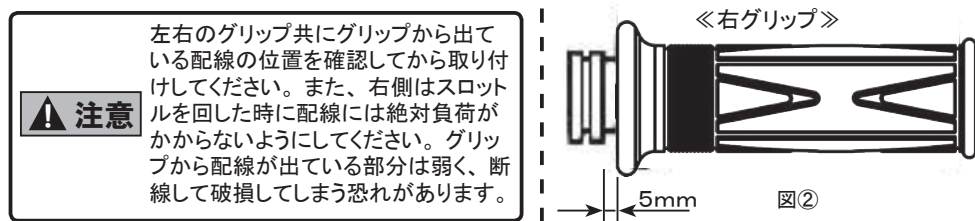
<SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スロットル側は必要に応じてスペーサーを先に入れてからグリップヒーターを取り付けしてください。（スペーサーが必要ない場合もあります）

<以下、HG、SP共通>

図①を参考に、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくとし込みやすくなります。また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

※このとき、スロットル操作に問題無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

⑤配線のまとめ

左右グリップの取り付けが終わったら、右グリップの配線はスロットルケーブルに沿うように左グリップの配線は純正スイッチBOXの配線に沿うように通してグリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。

また、配線の長さが余ってしまっている部分は純正のメータステー部にタイラップなどでまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

⑥取り付け完了

取り外した部品を元に戻せば完成です。

動作確認をします。問題なく温まったら、カウルなど外した物を元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com